



**Q 志津見ダム周辺整備計画は**  
**A 水源ビジョンの策定を**

永井 章議員

現在、周辺整備が実施されていますが、ダム本体工事が平成二十年度に完成し、試験湛水が実施されるとイベント会場が河川敷となります。

今後、河川占用許可により開催できるのか。また、できない場合はうぐいす茶屋付近かダム本体周辺が考えられます。



**Q 民具の収蔵施設への対応は**  
**A 現在の収蔵施設での保管を**

永井議員

ダム移転者の方から先祖伝来の民具が提供され、町有建物の二カ所に保存されています。

ダムサイト付近に管理庁舎と公園整備が策定されていますが、この計画のなかに民具収蔵施設の考えは。

山碓町長

公園整備計画は、ダム管理所を中心とした計画であり、民具の収蔵計画はありません。

収蔵については、地元と協議を行ってきましたが、維持管理に多額の経費がかかり、現在の施設を手入れし、整備します。

展示については、イベント等皆様の意思を尊重し、対応します。

山碓英樹町長  
計画では、二十二年夏から湛水が始まります。試験湛水期間は使用できませんが、状況を見ながら、国交省、県、町も将来の活用を頭におき整備を行っています。

湛水期間中は、うぐいす茶屋付近のイベント開催も可能であり、もみじの植栽等、彩りの森として一体的整備を行い、水源ビジョンの策定を進めます。

# 9月定例会 町政を問う 一般質問

**Q 臨時職員に配慮を**  
**A 職員のあり方を検討**



難波伸一郎議員

財政の健全化が求められるなか、鳥取県で実施された職員の給与をカットし、臨時職員を雇用する手法を検討されたい。

また、臨時職員は弱い立場であり、配慮が必要と考えるが。

山碓英樹町長

役場は町民の福祉向上のためにあり、給与・

賃金の支払い団体ではありません。

職員数については、行政改革推進委員会からも多すぎるとの指摘もあり、本町にとつてふさわしい体制、職員数、臨時職員のあり方について検討します。

**Q 町名は大切に**  
**A 愛称として**

難波議員

議会報では「いいなん」、町広報は「いーなん」となっています。これは全国に配布されるもので、読みの問いがあります、公募して決めた町名でもあり、町広報の成りたちは。

山碓町長

町広報「いーなん」は合併前の業者選定プレゼンテーションで採択されたものです。

「いーなん」は、いい人、いい町という思いを口



ゴとして表したもので、町広報誌として気軽に親しみを持って見ていただきたいと、いっしょに愛称として使っており、ます。

